

CIAS Discussion Paper No.25

国際シンポジウム／ワークショップ報告書

**災害遺産と創造的復興**  
地域情報学の知見を活用して

山本 博之・西 芳実 編著



京都大学地域研究統合情報センター

# 目次

## 総括

### 災害遺産と創造的復興——地域情報学の知見を活用して

山本 博之(京都大学地域研究統合情報センター).....5

## 序論

### 「災害と社会 情報マッピング・システム」とその応用

西 芳実(京都大学地域研究統合情報センター)／山本 博之(京都大学地域研究統合情報センター)..... 19

京都大学地域研究統合情報センターのデータベース ..... 25

## 国際シンポジウム／ワークショップの記録 **33**

開催にあたって 山本 博之(京都大学地域研究統合情報センター)..... 34

開会の辞 イルワンディ・ユスフ(アチェ州知事)..... 35

歓迎の辞 ダルスマン(シアクアラ大学副総長) ..... 36

京都大学地域研究統合情報センターと地域研究 林 行夫(京都大学地域研究統合情報センター長)..... 37

歓迎挨拶 ムハンマド・デイルハムシャー(シアクアラ大学津波防災研究センター長)..... 39

歓迎挨拶 ムハンマド・ナシル(シアクアラ大学大学院事務長) ..... 40

## 12月21日 **41**

### オープニング・セッション

レクチャー1 地域研究と情報学 柳澤 雅之(京都大学地域研究統合情報センター)..... 42

レクチャー2 アチェにおける災害リスク・マップの作製  
エルディナ・ファティマ(シアクアラ大学津波防災研究センター)..... 44

レクチャー3 アチェ津波モバイル博物館 山本 博之(京都大学地域研究統合情報センター) ..... 46

## 12月22日 **55**

### セッション1 緊急人道支援のための情報共有

報告1 情報・科学・技術の活用 ムハンマド・デイルハムシャー(シアクアラ大学津波防災研究センター)..... 56

報告2 災害地域情報マッピング・システムとその応用 山本 博之(京都大学地域研究統合情報センター) ..... 60

### セッション2 災害遺産・博物館・ツーリズム

報告1 アチェの学校教育における防災教育 フサイニ(アチェ州教育局長) ..... 65

報告2 災害遺産とミュージアム——体験を次の世代にどう伝えるか 寺田 匡宏(国立歴史民俗博物館)..... 67

報告3 世界の津波被災地から世界の津波ツーリズム拠点へ ラフマダニ(アチェ州文化観光局)..... 75

報告4 インドネシアにおける観光と自然災害——社会的復興の方策として  
浜元 聡子(京都大学東南アジア研究所)..... 78

## 12月23日 **85**

### オープニング・セッション 情報処理の現在

報告1 アチェ州における情報管理の現状と課題 アドナン・ブランシャー(アチェ州議会予算委員長)..... 86

報告2 情報学の動向——メタデータを主題として 原 正一郎(京都大学地域研究統合情報センター) ..... 88

報告3 災害リスク軽減に関する情報の普及 マルワン・ヌスフ・イリヤス(アチェ州運輸通信情報局) ..... 94

### 講義1 地域開発のためのデータベース活用

社会を捉えるための災害地域情報マッピング・システム 山本 博之(京都大学地域研究統合情報センター)..... 99

|   |     |
|---|-----|
| 災害リスク管理のための情報システムの構築 ナサルディン(シアクアラ大学津波防災研究センター).....     | 101 |
| <b>講義2 人文社会科学における地理情報の活用</b>                            |     |
| 上座仏教徒の実践マッピング——寺院施設と移動 林 行夫(京都大学地域研究統合情報センター) .....     | 103 |
| アチェにおける防災学校プログラムの展開 ムハンマド・リダ(シアクアラ大学津波防災研究センター).....    | 106 |
| <b>講義3 アチェにおけるデータベース開発の現状</b>                           |     |
| アチェ開発計画局におけるデータ標準と地理空間データ・システム                          |     |
| ナンダ・マウリナ(アチェ州開発計画局アチェ地理空間データ・センター).....                 | 108 |
| アチェ災害情報データベース(DIBA) イルマ・スティアワティ(シアクアラ大学津波防災研究センター)..... | 110 |
| <b>コメントと討議</b>  |     |
| 『コンパス』新聞社の編集方針——オンラインの活用を中心に ベピ・ヌグラハ(コンパス・メディア社) .....  | 113 |
| アチェにおける災害リスク軽減のためのメディアの対応                               |     |
| ヤルメン・ディナミカ(スランピ・インドネシア社).....                           | 115 |

## 12月24日 121

|  |     |
|--|-----|
| <b>基調報告1 「インドネシアにおける地震火山の総合防災策」事業について</b>          |     |
| 遠藤 清美(JST-JICA地球規模課題対応国際科学技術協力事業                   |     |
| 「インドネシアにおける地震火山の総合防災策」インドネシア事務局) .....             | 122 |
| <b>基調報告2 シアクアラ大学大学院防災学専攻とその社会的役割</b>               |     |
| シャムスル・リザル(シアクアラ大学大学院長) .....                       | 124 |
| <b>講義4 境界を超える地域情報(1)</b>                           |     |
| フィールドノートを地図に載せる 柳澤 雅之(京都大学地域研究統合情報センター) .....      | 127 |
| 西スマトラ州における災害リスク軽減の試み フェブリン・アナス・イスマイル(アンダラス大学)..... | 139 |
| <b>講義5 境界を超える地域情報(2)</b>                           |     |
| 災害と社会 情報マッピング・システム 西 芳実(京都大学地域研究統合情報センター) .....    | 141 |
| 歴史地図・慣習地図・メンタルマップ——利用者から見た情報サービス                   |     |
| 服部 美奈(名古屋大学大学院教育発達科学研究科) .....                     | 145 |
| 南スラウェシ州における災害とハザード・マップ フィルダウス・ダウド(マカッサル大学).....    | 147 |
| <b>講義6 アジアにおける災害対応(1)</b>                          |     |
| 衛星画像の読み方 星川 圭介(京都大学地域研究統合情報センター).....              | 150 |
| 機械翻訳と辞書連携——災害情報支援のための多言語ツール                        |     |
| ジュリアン・ブルドン(京都大学地域研究統合情報センター).....                  | 154 |
| GISリモート・センシングにおける日本とアチェの協力について                     |     |
| ムザイリン・アフアン(シアクアラ大学GISリモート・センシング・センター長).....        | 158 |
| <b>講義7 アジアにおける災害対応(2)</b>                          |     |
| コミュニケーションの「場」としての支援事業 亀山 恵理子(奈良県立大学).....          | 159 |
| 東日本大震災と情報技術 牧 紀男(京都大学防災研究) .....                   | 161 |
| 災害時の情報管理のための4つのソリューション 石井 重光(株式会社ターニングポイント).....   | 163 |

## 12月25日 169

|   |     |
|---|-----|
| <b>講義8 学校での防災教育</b>                                   |     |
| 防災意識向上のための教材活用法 ムナスリ(インドネシア科学院).....                  | 170 |
| アニメーションによる子ども向け防災教育 マフルザ・ムルダニ(シアクアラ大学津波防災研究センター)..... | 173 |
| <b>総括</b>   |     |
| 地域情報学の応用と将来 原 正一郎(京都大学地域研究統合情報センター).....              | 176 |
| 「世界のベランダ」としてのアチェ 西 芳実(京都大学地域研究統合情報センター).....          | 179 |

|  |     |
|--|-----|
| 閉会挨拶 原 正一郎(京都大学地域研究統合情報センター副センター長).....      | 183 |
| 閉会挨拶 ムハンマド・ディルハムシャー(シアクアラ大学津波防災研究センター長)..... | 185 |
| 資料.....                                      | 187 |
| 日本側発表者プロフィール.....                            | 188 |
| 学術交流協定の締結.....                               | 191 |
| 現地報道記事の紹介.....                               | 192 |
| インドネシア語版報告.....                              | 194 |

■シンポジウム／ワークショップに参加して

|   |                     |
|---|---------------------|
| アチェの復興——「他者に助けの手を与えられる我々」へ.....               | 山本 博之 62            |
| 「負の記憶」の継承の側面から見た津波7年後のアチェ——博物館・災害遺産の側面から..... | 寺田 匡宏 70            |
| 被災地の観光化と日常生活をめぐって.....                        | 浜元 聡子 80            |
| アチェ震災情報のデジタル化と共有化.....                        | 原 正一郎 92            |
| 世俗と「もう一つの世界」を結ぶ記憶の空間.....                     | 林 行夫 104            |
| フィールドノート「アチェ国際ワークショップ記録」.....                 | 柳澤 雅之 130           |
| ワークショップという方法——アチェの創造的復興と学術交流.....             | 西 芳実 142            |
| 国際連携と災害前のネットワークの重要性.....                      | 服部 美奈 145           |
| 衛星画像データ利用と地域情報学.....                          | 星川 圭介 152           |
| 開発途上国における災害対応のための情報技術.....                    | ジュリアン・ブルドン＝ミヤモト 156 |
| インドネシア赤十字社アチェ州支部を訪れて.....                     | 亀山 恵理子 159          |
| 地域の記憶と防災.....                                 | 牧 紀男 161            |

CIAS Discussion Paper No.25

YAMAMOTO Hiroyuki and NISHI Yoshimi (eds.)

**Disaster Heritage and Creative Economy: From Perspective of Area Informatics**

© Center for Integrated Area Studies, Kyoto University

46 Shimoadachi-cho, Yoshida Sakyo-ku, Kyoto-shi,

Kyoto, 606-8501, Japan

TEL: +81-75-753-9616 FAX: +81-75-753-9602

<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>

March, 2012